

新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに基づく対応

1. 大会開催に関する事前準備

会場

本部席は座席の間隔を広めにし、選手待機場所及び保護者の応援場所についても十分に間隔をとれるように広めにスペースを確保する。また、本会場については、屋外であることから3密を回避し換気等も十分に行えると考ええる。

会場設営

入口に関しては導線を引き密集しないようにする。会場入口、本部席、トイレに消毒液を設置する。また、土俵の東西に消毒液を設置し、選手が土俵に上がる際には手指消毒をしたうえで試合に臨むようにする。

2. 健康確認

大会関係者、選手、保護者に当日の検温とコロナチェックシートの提出をしてもらうようにする。ガイドラインに則り、当日に発熱等の症状がある場合には大会への参加を見送るように求める。また、大会関係者及び保護者についても同様の症状がある場合には、会場への入場を見送るよう求める。

3. 当日受付

受付時に検温と、手指消毒、コロナチェックシートの提出し、マスクを着用したうえで会場への入場を許可する。

本部席は座席の間隔を広く取り、席と席の間にビニールカーテン等を適に設置する。

受付スタッフのみならず大会関係者については会場内ではマスクの着用を徹底する。

4. 参加者の行動

選手は取組前後にアルコール消毒を行う。参加者に大声での声援等を行わないようにアナウンスする。

会場では、密集・密接・密閉の3密を避けるようにする。また近距離での大声での会話を控えるよう注意喚起を行っていく。

5. 保護者・応援者の管理

入場の際には、検温とアルコール消毒・コロナチェックシートの提出し、体調不良者の入場は認めないようにする。応援の際は大声での声援はしないように注意喚起し、また、会場内では周囲と十分な距離をとるようにアナウンスをする。

6. 主催者の対応

新型コロナウイルス感染症対策の「会場責任者」を担当副理事長及び委員長とし、大会会場内での感染症防止策の徹底に努めさせる。

表彰式については、表彰者及び選手はマスク着用とする。

7. その他

各自、感染対策を行いながら大会運営を行っていく。また、提出を受けた個人情報の管理は、事業責任者が責任を持って管理を行う。